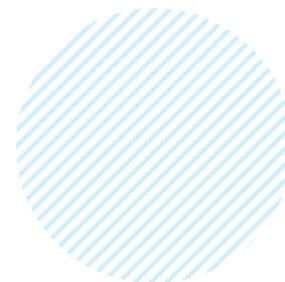


**多様な人びとが生きる地域づくりとは
～中間支援の実践者からの提言～**

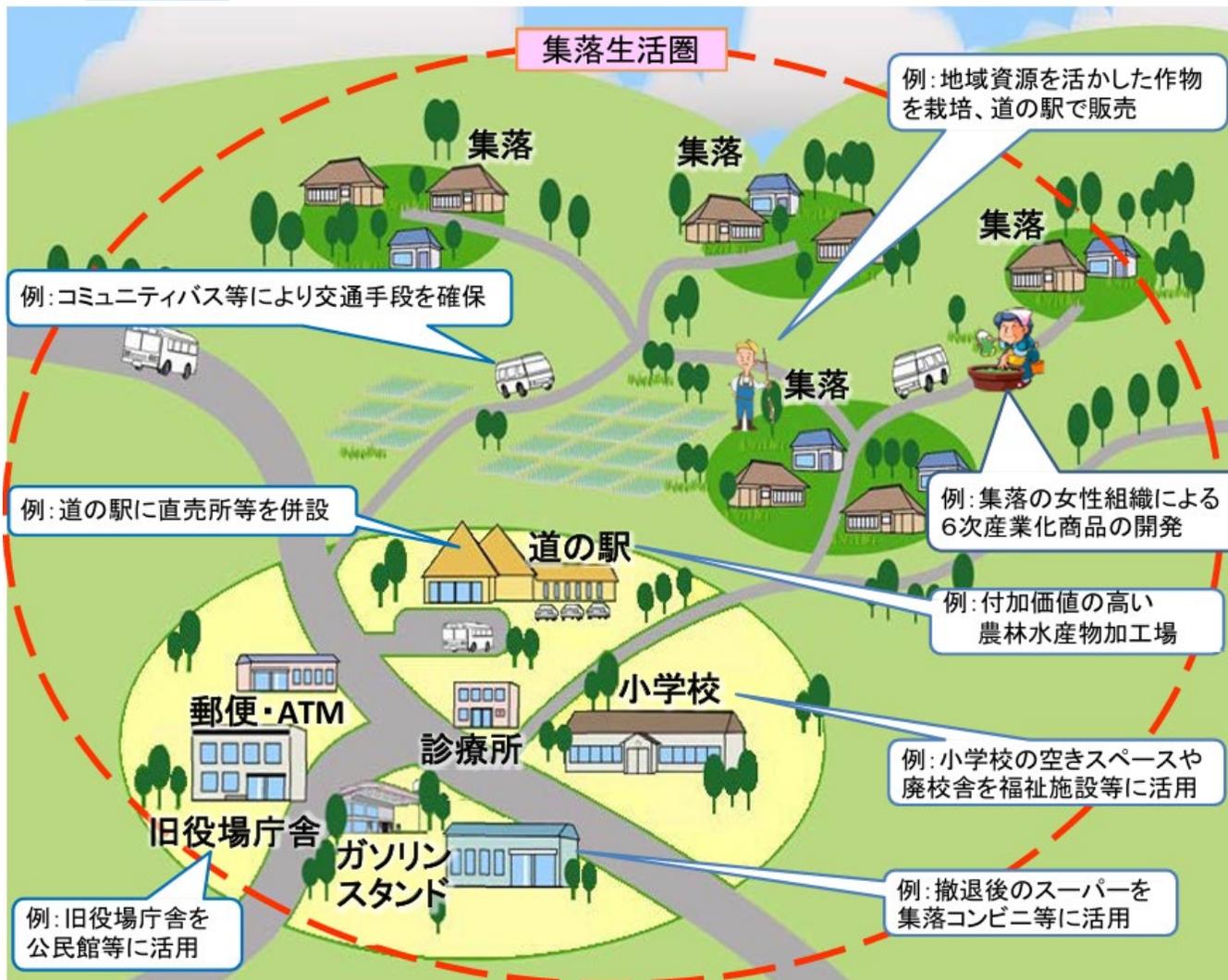
趣旨説明

2026年3月2日（月）

株式会社アール・ピー・アイ



「小さな拠点」とは



中山間地域等の**集落生活圏**（複数の集落を含む生活圏）において、安心して暮らしていく上で必要な**生活サービスを受け続けられる環境を維持**していくために、**地域住民**が、**自治体や事業者、各種団体と協力・役割分担をしながら、各種生活支援機能を集約・確保**したり、**地域の資源を活用し、しごと・収入を確保**する取組を「小さな拠点」づくりという。

「小さな拠点」を支える中間支援の必要性

★「小さな拠点」は、従来の「行政がサービスを提供し、住民が受ける」という構図ではなく、住民自身が「経営」に関わるプロセスが重要

★つまり、多様な人びとの主体的な参画が大事

想いはあるけど、
何をしたらよいか
わからない

みんなの意見や
やりたいことを
まとめたい

行政と一緒に
考えていきたい

他の団体と
一緒にやりたい

行政支援などを
活用したいが、
内容が難しい

行政に困りごとを
伝えたい

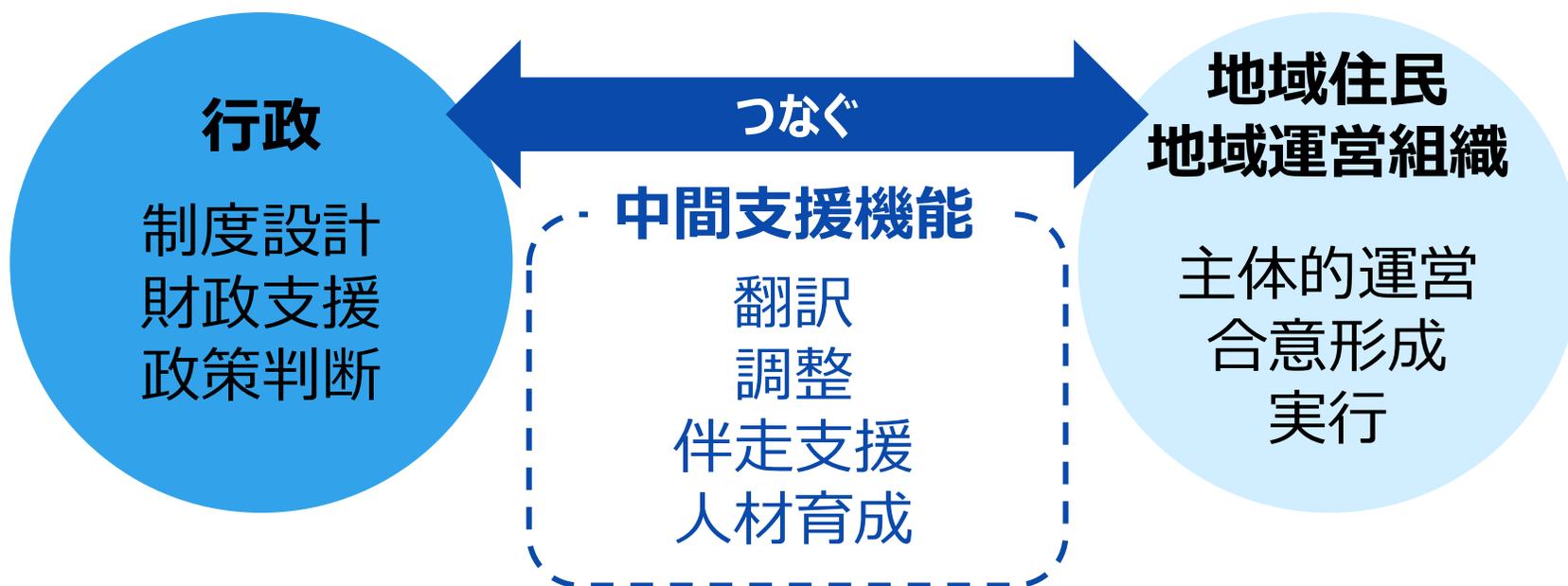
行政と多様な主体との間に入る「中間支援」の役割が必要

「小さな拠点」を支える中間支援の役割

★「小さな拠点」づくりは、「**関係性の構築**」が重要

✓ 行政が制度を整え、中間支援が翻訳・調整し、地域が主体的に動く

★重要なのは、上下関係ではなく「**機能分担**」



本日議論する「中間支援」とは

★「中間支援機能」の「つなぐ役割」に着目

- ✓ 中間支援機能は、活動への伴走、地域に不足する経営資源の確保など、重要な役割を担っている
- ✓ その中でも今回は、地域内外の多様な主体や資源を結びつけて協働や相互支援を促進する「つなぐ」役割に着目

★中間支援の「つなぐ」役割

①双方の情報収集・発信

地域資源や活動情報、活動に必要な情報やデータ等を収集・整理・発信する

②出会い・対話の場づくり

未知な情報、地域内外の異なる立場の主体との出会い、交流機会を提供する

③マッチング

地域の課題・ニーズと必要な経営資源（人・物・金・情報等）をつなげる

④対話の翻訳

異なる立場、活動分野の主体同士の対話と協働を調整する